

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

学校名	下関看護リハビリテーション学校
設置者名	学校法人巨樹の会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科	夜・通信	39 単位 (960 時間)	9 単位 (240 時間)	
	理学療法学科	夜・通信	51 単位 (1380 時間)	9 単位 (240 時間)	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

シラバス 学則別表1-1を参考に一覧表を作成しHPで公表
<https://www.shimonoseki-reha.jp/about/disclosure>

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	下関看護リハビリテーション学校
設置者名	学校法人巨樹の会

1. 理事（役員）名簿の公表方法

法人ホームページ https://kyoju.ac.jp/financial/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	病院院長	令和4年4月1日～ 令和8年3月31日	法人運営全般
非常勤	会社役員	令和4年4月1日～ 令和8年3月31日	事業運営及び組織体制の調整
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	下関看護リハビリテーション学校
設置者名	学校法人巨樹の会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p><看護学科> 2022年改正カリキュラム運用開始し丸2年が経過した。指定規則に則り、学校法人の教育理念のもと教員全員で検討して作成している。学校法人の他2校のカリキュラム検討委員会と情報交換し、共通事項と各校の独自性、内容確認し、シラバスを作成している。HPに公表済である。</p> <p><理学療法学科> 教育課程の編成方針、実施方針、シラバス作成に関しては、教育理念のもと、指定規則に従い、各校からの意見を持ち寄りグループ校4校で構成されるカリキュラム委員会、運営委員会で決められている。シラバス作成に関しては、各校の科目担当者会議やメールのやりとり等で連絡を取り合いながら作り上げ、カリキュラム委員会・運営委員会を経て決定される。HPに公表済である。</p>	
授業計画書の公表方法	<p><看護学科><理学療法学科> HPに公表 https://www.shimonoseki-reha.jp/disclosure</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p><看護学科> 学修意欲の把握：適宜面談を実施している。特に試験結果から学習方法の改善が必要な学生に関しては、その都度実施し、必要に応じて保護者との三者面談も実施し、確認している。 学修成果の評価：評価方法をシラバスで知らせ、初回の講義の時に各実務教員は説明している。小テスト・終講試験・技術試験・レポート・ケーススタディを用い、評価を行い、学校運営会議を経て単位認定している。</p> <p><理学療法学科> 学修意欲の把握：適宜面談を実施している。特に試験結果の悪い学生に関しては、その都度実施し、必要に応じて保護者との三者面談も実施し、確認している。 学修成果の評価：評価方法をシラバスで知らせ、初回の講義の時に各実務教員は説明している。各科目のシラバスに記された評価方法(小テスト・期末試験・レポート等)に従って評価を実施し、学校運営会議を経て単位認定している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価について学生便覧の学則及び履修規定の項目で、標記している。学生にはガイダンス時に説明している、 <p>A (80点以上) B (79点～70点) C (69点～60点) D (60点未満) とし、C以上を合格とする。</p> <p>単位認定は当該科目に必要な出席状況と当該科目の評価により、学校運営会議で決定される</p> <p>成績は100点満点で素点を出し、得点の高い方から順列を確認している。</p> <p>平均点を出し、学生の成績の状況を学科会議及び単位認定会議の場で確認している</p> <p>GPAに関しては、運用に至っておらず今後検討していく。</p> <p><理学療法学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価について学生便覧の学則及び履修規定の項目で、標記している。学生にはガイダンス時に説明している、 <p>A (80点以上) B (79点～70点) C (69点～60点) D (60点未満) とし、C以上を合格とする。</p> <p>単位認定は当該科目に必要な出席状況と当該科目の評価により、学校運営会議で決定される</p> <p>試験問題については、事前に役職者が確認するとともに、試験後は平均点や標準偏差を見て試験の妥当性についても毎回行っている。</p> <p>成績は100点満点で素点を出し、得点の高い方から順列を確認し、平均点、標準偏差を出し、学生の成績の状況を学科会議及び単位認定会議の場で確認している</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>HPに公表 https://www.shimonoseki-reha.jp/about/disclosure</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p><看護学科></p> <p>学則第23条に則り、学校運営会議を経て卒業認定している。</p> <p><理学療法学科></p> <p>学則に「学校長は教育課程に定められているすべての授業科目の単位修得を認定された者に対し、学校運営会議において卒業認定を行う。」と定められており、この学則に従って行っている。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p><看護学科・理学療法学科> 成績評価、卒業認定については職業実践専門課程の基本情報としてHP上に公表 https://www.shimonoseki-reha.jp/about/disclosure</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	下関看護リハビリテーション学校
設置者名	学校法人巨樹の会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	法人ホームページ https://kyoju.ac.jp/financial/
収支計算書又は損益計算書	法人ホームページ https://kyoju.ac.jp/financial/
財産目録	法人ホームページ https://kyoju.ac.jp/financial/
事業報告書	法人ホームページ https://kyoju.ac.jp/financial/
監事による監査報告（書）	法人ホームページ https://kyoju.ac.jp/financial/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

理学療法学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法学科	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3120 単位時間	1500 単位時間	720 単位時間	900 単位時間	単位 時間	単位 時間
			3120 単位時間				
生徒総定 員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
240人	128人	0人	11人	14人 (看護と兼任3人含)	25人		
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
（概要） https://www.shimonoseki-reha.jp/about/disclosure							
成績評価の基準・方法							
（概要） 評価について学生便覧の学則及び履修規定の項目で、標記している。 A (80点以上) B (79点～70点) C (69点～60点) D (60点未満) とし、C以上を合格とする。 単位認定は当該科目に必要な出席状況と当該科目の評価により、学校運営会議で決定される 試験問題については、事前に役職者が確認するとともに、試験後は平均点や標準偏差を見て試験の妥当性についても毎回行っている。 成績は100点満点で素点を出し、得点の高い方から順列を確認し、平均点、標準偏差を出し、学生の成績の状況を学科会議及び単位認定会議の場で確認している。							

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>1) 進級認定について (学則：細則第 19 条) 原則として当該学年において履修すべき全科目 (実習を含む) に合格していること。ただし、未修得科目については進級後再履修が可能な場合は、学校運営会議を経て、学校長が進級を認めることがある。</p> <p>2) 卒業認定について (学則第 23 条) 学則に「学校長は教育課程に定められているすべての授業科目の単位修得を認定された者に対し、学校運営会議において卒業認定を行う。」</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>1) 入学早期からの個別学習指導、少人数学習指導 (成績不良者対象)</p> <p>2) 空きコマを利用した補講、試験対策セミナー (全学生対象)</p> <p>3) 1 年次より 3 年次まで段階的に行う国家試験対策 (全学生対象)</p> <p>4) 3 年次の国家試験対策での個別指導、少人数指導も導入 (成績不良者対象)</p> <p>5) カリキュラム外での実技指導および確認試験の実施</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
59 人 (100%)	0 人 (%)	53 人 (89.8%)	6 人 (10.2%)
(主な就職、業界等) 病院、デイサービス			
(就職指導内容) 学内で外部施設の就職説明会 2 回開催、グループ病院の施設見学、同学校法人 3 校と合同就職説明会開催			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 令和 5 年度 理学療法学士国家試験合格率 91.5% (新卒者)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
161 人	10 人	6.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による面談等のフォロー、学校行事を通してリフレッシュを図る 希望者にはスクールカウンセラーを活用し早期に対応		

看護学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護学科	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演 習	実習	実 験	実技
3年	昼	3075 単位時間	1980 単位時間	単位 時間	2040 単位時間	単位 時間	単位時間
			3075 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	93人	0人	10人	61人 (理学と兼任3人含)	71人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) https://www.shimonoseki-reha.jp/about/disclosure
成績評価の基準・方法
(概要) 評価について学生便覧の学則及び履修規定の項目で、標記している。 A (80点以上) B (79点～70点) C (69点～60点) D (60点未満) とし、C以上を合格とする。 単位認定は当該科目に必要な出席状況と当該科目の評価により、学校運営会議で決定される 試験問題については、事前に役職者が確認するとともに、試験後は平均点や標準偏差を見て試験の妥当性についても毎回行っている。 成績は100点満点で素点を出し、得点の高い方から順列を確認し、平均点、標準偏差を出し、学生の成績の状況を学科会議及び単位認定会議の場で確認している。
卒業・進級の認定基準
(概要) 1) 進級認定について (学則：細則第19条) 原則として当該学年において履修すべき全科目 (実習を含む) に合格していること。 ただし、未修得科目については進級後再履修が可能な場合は、学校運営会議を経て、学校長が進級を認めることがある。 2) 卒業認定について (学則第23条) 学則に「学校長は教育課程に定められているすべての授業科目の単位修得を認定された者に対し、学校運営会議において卒業認定を行う。」
学修支援等
(概要) 1) 入学早期からの個別学習指導、少人数学習指導 (成績不良者対象) 2) 空きコマを利用した補講、試験対策セミナー (全学生対象) 3) 1年次より3年次まで段階的に行う国家試験対策 (全学生対象) 4) 3年次の国家試験対策での個別指導、少人数指導も導入 (成績不良者対象) 5) カリキュラム外での実技指導および確認試験の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
40人 (100%)	1人 (2.5%)	37人 (92.5%)	2人 (5.0%)
(主な就職、業界等) 病院			
(就職指導内容) グループ病院施設見学、学内での説明会。市内外部施設の就職説明会。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 令和5年度 看護師国家試験合格率 89.7%			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
113人	10人	8.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による面談等のフォロー、学校行事を通してリフレッシュを図る 希望者にはスクールカウンセラーを活用し早期に対応		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
理学療法学科	250,000円	900,000円	400,000円	施設整備費・教科書・ユニフォーム
看護学科	250,000円	900,000円	360,000円	施設整備費・実習費・教科書・ユニフォーム
修学支援（任意記載事項）				
理学療法学科 早期入学者授業料減免、特待生試験により授業料免除又は減免				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
https://www.shimonoseki-reha.jp/about/disclosure
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
・評価項目（大項目） ①教育理念・教育目的・人材育成像 ②学校運営 ③教育活動 ④学修成果 ⑤学生支援 ⑥教育環境 ⑦学生募集活動、広報活動 ⑧財務 ⑨法令等の遵守 ⑩社会貢献・地域貢献

<p>・評価委員の構成 学校関係者評価委員の定数 5名以上 (内訳)</p> <p>①企業等の評価委員 1名以上 ②卒業生の評価委員 1名以上 ③保護者又は④地域住民の評価委員 1名以上 ⑤高校等評価委員 1名以上 ⑥～⑧ 専門家等評価委員 ⑥～⑧の中から1名以上 ⑥学校運営に関する専門家 ⑦地域の地方公共団体等の関係者 ⑧当該分野における評価の専門家</p> <p>・評価結果の活用 退学者0、国家試験合格100%、就職率100%を目指し、引き続き学生支援に取り組んでいる。また、また、教育環境のさらなる充実を図っていく。特に、理学療法学科では、指定規則改定に対応できるよう教育備品を計画的に購入していく。また、委員の方からご提言があった定員確保対策については引き続き積極的に今年度も取り組んでいる状況である。 (令和5年度 学校責任者 学校長：林 研二 理学療法学科責任者：副学校長 山崎圭、看護学科責任者：副学校長 田中亜紀子)</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
下関市議会 議員	令和6年4月1日 ～令和8年3月31日	地方公共団体等の関係者
山口県地域リハビリテーション支援団体 理事長	令和6年4月1日 ～令和8年3月31日	専門分野における業界関係者
地方独立行政法人 下関市立市民病院 理学療法士	令和6年4月1日 ～令和8年3月31日	卒業生
下関国際高等学校 校長	令和6年4月1日 ～令和8年3月31日	高等学校からの評価委員
安岡病院 看護部長	令和6年4月1日 ～令和8年3月31日	専門分野における業界関係者
医療法人水の木会 下関病院 看護師	令和6年4月1日 ～令和8年3月31日	卒業生
彦島自治連合会 会長	令和6年4月1日 ～令和8年3月31日	地域住民からの評価委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.shimonoseki-reha.jp/about/disclosure		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

https://www.shimonoseki-reha.jp/
